## 奥日光大沢でカラフトホソコバネカミキリを採集

下村　　徹

1971年7月18日，群馬県奥日光大沢の貯木場（ここの材は仁加又沢などから伐採されてきたもの）で針葉樹の材上に止まっていたカラフトホソコバネカミキリ *Necydalis sachalinensis* MATSUMURA et TAMANUKI 1♂を採集したので報告する。

採集した当時はまったくオオホソコバネカミキリの♂と思い込んでいたが，月刊むし19号誌上に鈴木和利氏により南アルプス二軒小屋で採集されたカラフトホソコバネカミキリが発表されて，筆者の採集品に疑問を持ち，郷遠氏に見ていただいたところ，カラフトホソコバネカミキリに間違いないということになった。そしてまた，南アルプス産の標本と比較する機会を作ってもらい，その結果，前胸背や上翅の形状，脚の色などから確かにカラフトホソコバネカミキリ♂と同定された。



この報告にあたり，標本写真，同定など全面的に御指導していただいた郷遠氏，また貴重な標本を見せていただいた鈴木和利氏に心から深謝いたしたい。

（〒140　品川区大井3-1-17）

## 秋田県でツシマムナクボカミキリを採集

斎藤　秀秋

ツシマムナクボカミキリ *Cephalallus unicolor* GAHAN は南方系の種で，これまでは東北地方からの記録を見ていない。筆者は秋田県田沢湖にて本種を採集したのでここに記録する。

1 ex., 秋田県田沢湖駅，17. viii. 1971，斎藤秀秋採集

駅構内の貯木場の針葉樹の裏側についていたもので，他にサビカミキリ 9 exs. を採集。

なお，未発表ながら，本種は東北地方からは他に，福島県湯ノ花・青森県下でも採集されていると聞く。

（〒154　世田谷区弦巻4-2-17　くるみ荘30号）

## 北海道にてコジマヒゲナガコバネカミキリを採集

粂　久仁雄



1972年6月24日，北海道札幌市簾舞付近のゴトウヅル花上に飛来したコジマヒゲナガコバネカミキリ *Molorchus kojimai* MATSUSHITA 1♀を採集した。従来，本種の北海道における記録はなかったと思われるのでここに報告させていただく。

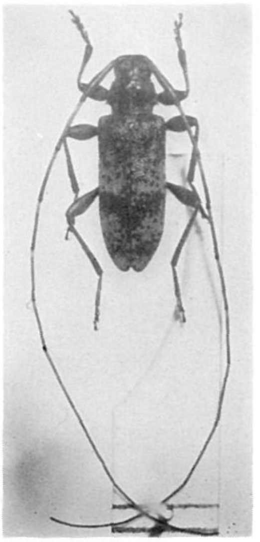
なお，本花上では本種の他にサドチビアメイロ・マツシタトラ・カエデノヘリグロハナ・クロサワヘリグロハナ・モモブトハナなどのカミキリが採集された。サドチビアメイロカミキリは花上よりもむしろゴトウヅル葉上を徘徊している個体の方が多いようである。

（〒165　中野区江古田2-1-2）

## 北海道におけるナカバヤシモモブトカミキリの採集例

安井　正*・生島　典明**・下村　徹***

ナカバヤシモモブトカミキリ *Leiopus guttatus* BATES は北海道から九州まで分布しているが，筆者らの知る限りでは，神奈川県横浜南部の六国峠付近を除いてはあまり多いものではないと思われる。筆者らは北海道定山渓と十勝支庁幌加から本種を採集したので報告する。



1♂，十勝支庁三股盆地幌加，24〜28. vii. 1972，下村徹採集（写真）

貯木場でトドマツ？の材上より多数採集したヒゲナガモモブトカミキリの中に入っていたもので，この個体は横浜市六国峠産のものと比較するとかなり黒化している。

2♀♀，札幌市定山渓，24. viii. 1972，安井正・生島典明採集

無意根山の薄別登山口からの林道の主にトドマツ・ダケカンバの伐採地（標高約650m）で，トドマツの伐採木上より採集した。今回の8月下旬の記録は，時期的にも面白いと思われる。

*(〒065　札幌市北26条西6丁目)
**(〒065　札幌市北33条東15丁目)
***(〒140　品川区大井3-1-17)

## 奥多摩でトワダムモンメダカカミキリを採集

森　祐二郎



東京都下奥多摩においてコナラのそだをビーティングしたところ，トワダムモンメダカカミキリ *Stenhomalus lighti* GRESSITT を得たので報告する。

1 ex., 都下西多摩郡奥多摩町峰谷，3. V. 1973，森祐二郎採集

なお，奥多摩における本種の採集例としては，日原付近での未発表の採集例が1，2例あると聞く。

(〒166　杉並区高円寺南5-8-7)

## 秋期ビーティングによるカミキリ2種

藤田　宏

1972年10月10日，山梨県大菩薩へノブドウの枯づるなどを求めて登山した際，ついでに行なったビーティングにて次の種のカミキリを採集したので報告する。当日の朝は吐く息も白くなる寒さであった。

1. ナカジロサビカミキリ
   *Pterolophia jugosa* (BATES)
   1 ex.，山梨県大菩薩嵯峨塩付近，10. X. 1972
   そだをビーティングして得た。
2. カスリチビカミキリ（シロオビドイカミキリ）
   *Nipposybra fuscoplagiata* BREUNING
   1 ex., 山梨県大菩薩沼ノ窪付近，10. X. 1972
   モミの枯枝より。6月下旬に同行者が採集した際はまだ赤い枯葉のたくさんついた新しい枯枝より採集されていたが，今回は枯葉の残っていない比較的古い枯枝より得られた。ビーティングネットの上に落ちるとすぐ歩きだし，なかなか活発であった。

(〒110　台東区台東2-29-6)

## 山梨県大菩薩における ヒゲナガヒメルリカミキリの記録

高桑　正敏

ヒゲナガヒメルリカミキリ *Praolia citrinipes* BATES は比較的南方系の種で，関東周辺においては高尾山と天城山より記録があり，また未発表ながら房総半島清澄山にも産すると聞くが，これまで山梨県下での採集例を知らない。筆者は森下和彦氏の採集標本中から大菩薩産の本種を見い出したが，同氏の依頼により筆者が代わって発表しておく。

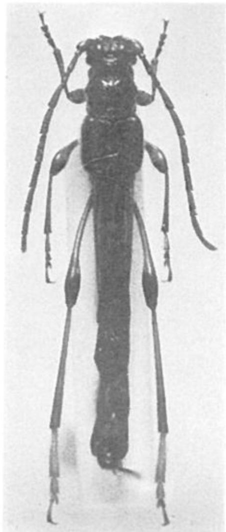
1♀，山梨県東山梨郡田野〜嵯峨塩間，13. viii. 1967，森下和彦採集所有

森下氏によると，この個体は灌木葉上に静止していたということである。

(〒236　横浜市金沢区六浦町3577)

## 屋久島におけるカミキリ2題

酒井　案理



1972年7月14日，鹿児島県屋久島の栗生（大川林道）において採集を行なった際に，次の2種を採集したので報告しておく。

1. オニホソコバネカミキリ
   *Necydalis gigantea* KANO 2♂♂（写真）
2. ケブカトラカミキリ
   *Hirticlytus comosus* MATSUSHITA 1♀

なお，オニホソコバネカミキリは，屋久島においては和田潤（1972，月刊むし10号，p.35）による1♂に次ぐ記録と思われ，やはり本州産の個体と比較すると小型（体長20mm，22mm）で幾分黒化し，また前胸背の点刻ははるかに深いなどの差異がある。

(〒177　練馬区関町1-125)